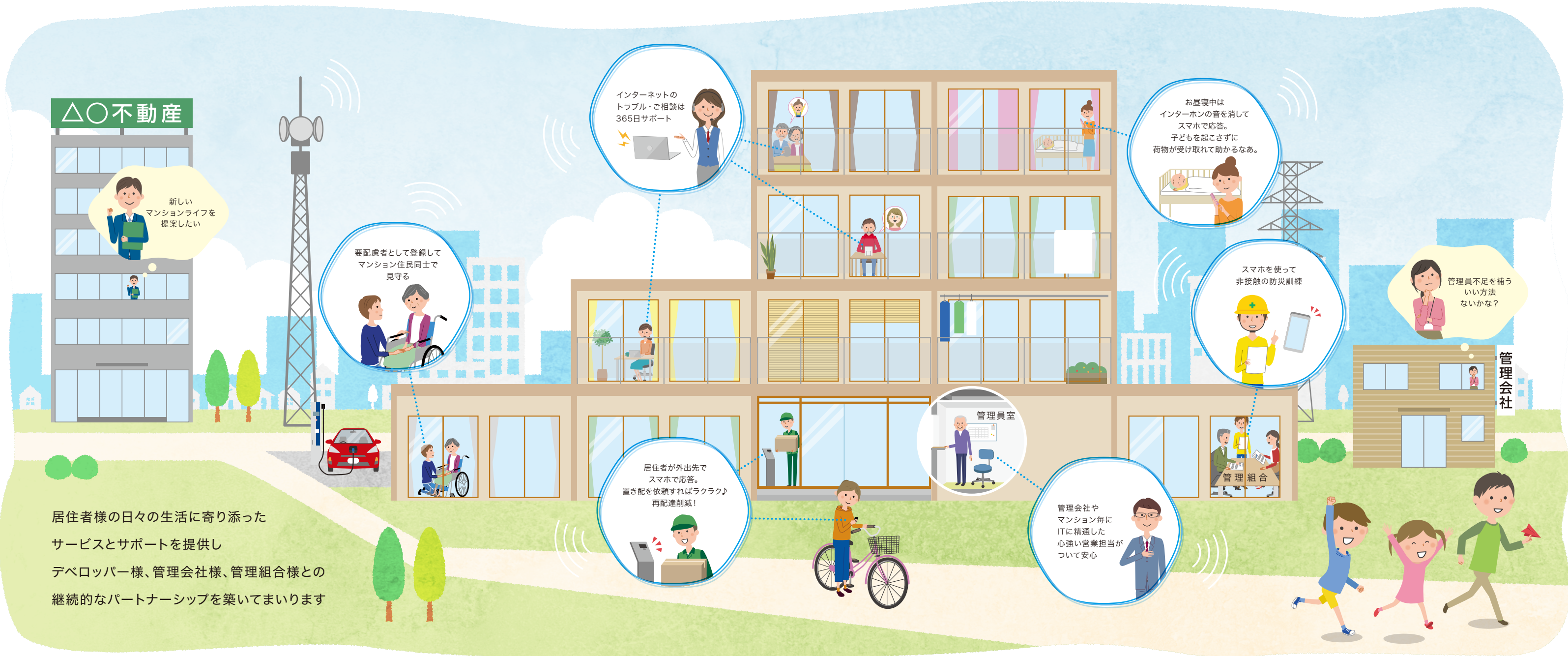




People Pro*by*der.

住まう人に「寄り添う」マンションITのプロ集団

Living with Ten Feet Wright



△○不動産

新しい
マンションライフを
提案したい

要配慮者として登録して
マンション住民同士で
見守る

インターネットの
トラブル・ご相談は
365日サポート

お昼寝中は
インターホンの音を消して
スマホで応答。
子どもを起こさずに
荷物が受け取れて助かるなあ。

スマホを使って
非接触の防災訓練

管理員不足を補う
いい方法
ないかな？

管理会社

居住者様の日々の生活に寄り添った
サービスとサポートを提供し
デベロッパー様、管理会社様、管理組合様との
継続的なパートナーシップを築いてまいります

居住者が外出先で
スマホで応答。
置き配を依頼すればラクラク！
再配達削減！

管理員室

管理組合

管理会社や
マンション毎に
ITに精通した
心強い営業担当が
ついて安心

住まう人 プロフェッショナル 寄り添う

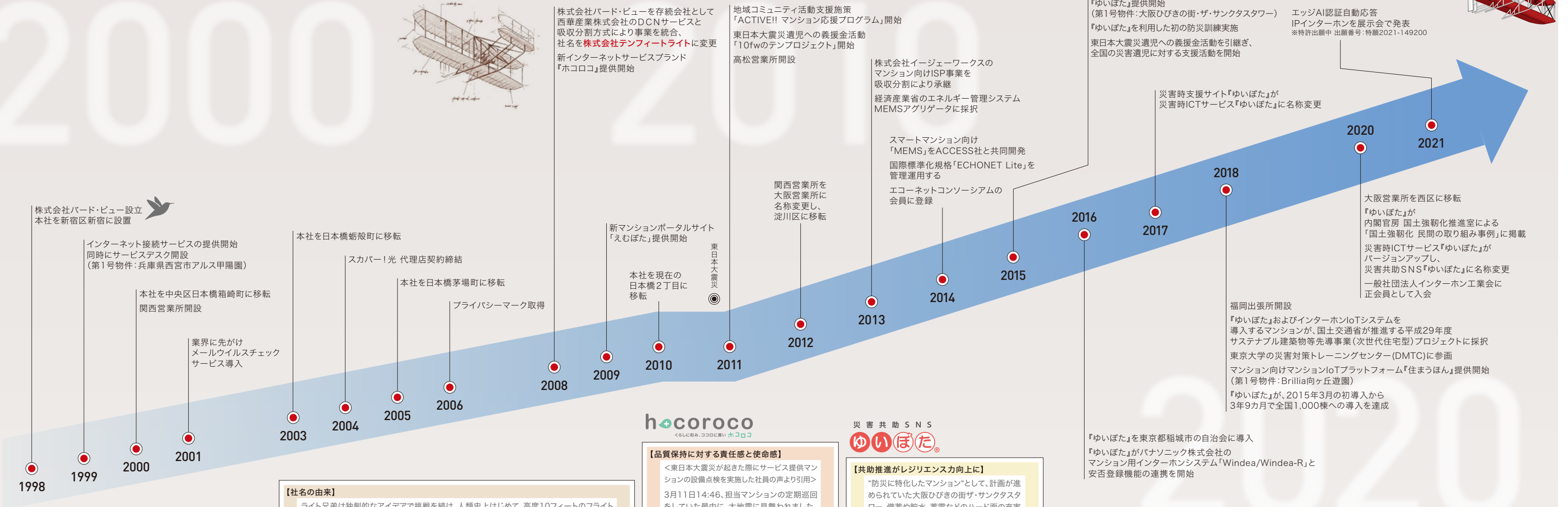
People Probyder.として 未来のあたりまえの創造をする

住まう人に「寄り添う」マンションITのプロ集団

住まう人の“あったらいいな”“できたらいいな”がすべての出発点。
人と人・人とモノ・人と技術をつなげて、新しいサービスを開発。
そして“住まう人のあたりまえ”になるまで日々磨き続ける。
デンフィートライトは“未来のあたりまえ創造カンパニー”です。



History & Story



【設立秘話】
 創業者相川が、義父の会社の主力事業だったLAN工事の技術と実績を活かした新事業を模索する中で、LANが持つ資源をシェアする特徴にフォーカスしました。ダイヤルアップ接続が主流であった時代に、NTT社よりリリースされたOCNエコノミー（128K）とLinuxサーバーをLANでシェアすることで、常時接続回線を安価に提供できるビジネススキームを企画しました。
 1998年、株式会社バード・ビューを設立し、翌年、関西地区の分譲マンション初となるLAN型インターネットサービスを兵庫県西宮市のマンションに提供開始。現テンフィートライトの礎を築きました。

【社名の由来】
 ライト兄弟は独創的なアイデアで挑戦を続け、人類史上はじめて、高度10フィートのフライトを実現しました。大空を飛ぶことは人類の夢でしたが、誰もが不可能だとあきらめていました。しかし彼らは、「夢は夢で終わらせてはならない、実現させてはじめて意味がある」と言い、夢を実現させました。私たちの夢は「住まう人のあたりまえの創造」。私たちはその夢を実現するために、偉業を成し得たライト兄弟のように独創的なアイデアで挑戦し続けていきます。テンフィートライトの命名には、そんな想いが込められているのです。

【インターネットにホッとする温かさを】
 社名の最終候補のひとつだった『ホコロコ』の意味は「ホッとするココロ」。居住者様が温かさを感じていただけるようなサービスを創っていきたい。社名にはなりませんでしたが、そんな想いをお伝えしたく『ホコロコ』をブランド名に起用しました。



【品質保持に対する責任感と使命感】
 <東日本大震災が起きた際にサービス提供マンションの設備点検を実施した社員の声より引用>
 3月11日14:46、担当マンションの定期巡回をしていた最中に、大地震に見舞われました。インターネットサービスが正常に稼働しているかどうか、マンション内のネットワーク機器に破損が生じていないかどうか、心配がよぎりました。即時、全棟を対象としたリモートで死活監視を実施。さらに大きな揺れによる設置環境の劣化など、将来のリスクに備えるために、東日本の250棟すべての機器を社員全員で現地に出向き点検をいたしました。会社一丸となって即行動できたことは、マンション専門のインターネットプロバイダー最古参としての強い責任感と使命感の賜物だと思います。



【共助推進がレジリエンス力向上に】
 “防災に特化したマンション”として、計画が進められていた大阪びびきの街・ザ・サンクタスタワー。備蓄や貯水、蓄電などのハード面の充実に加え、ソフト面をさらに強化したいという相談を受けて「災害時支援サイト」を提案、採用されたことがきっかけで『ゆいぼた』の開発が始まりました。以降、機能拡充を経て現在1,500棟を超えるマンションに導入されています。『ゆいぼた』のミッションは、マンションの枠を超え日本全国の地域に普及していくことにより共助が推進し、延いては日本の国土強靱化（レジリエンス）向上に貢献することです。それが、東日本大震災の教訓から得た私たちの使命なのです。

【満を持してのサービス開発】
 マンションの居住者様の課題解決につながるサービスとして注目していたインターホン市場。20年の試行錯誤を経て、2018年に分譲マンションに採用されているインターホンと連携可能な、マンションIoTプラットフォーム『住まうほん』が満を持して誕生しました。当初乗り気ではなかった社員が、今や『住まうほん』の事業責任者として先頭に立ち開発を進めています。

※『ホコロコ』『えむぼた』『ゆいぼた』『住まうほん』『マンションIoTプラットフォーム』はテンフィートライトの登録商標です。

Service



『ホコロコ』は、テンフィートライトの創業時から長きに渡りマンションの居住者様にご利用いただいているインターネット接続サービスです。当社は、まだ世の中でインターネットがあたりまえではなかった1999年、マンションにネットワーク（LAN）を構築し居住者様全員でシェアする、安心・安全・安価な常時接続型のインターネットサービスの提供を開始しました。また、マンションの共用施設予約管理システムや管理組合様用掲示板、理事会議事録の収録等ができる居住者様専用WEBページもいち早く開発し、マンションの居住者様に必要な情報が伝わる仕組みを整えました。そして、在宅ワーク・オンライン学習・オンライン診療などが常態化した現代、ご自宅でのインターネットの重要性が益々高まってまいりました。今後さらに顧客の視線が注がれる環境下において、多様化したニーズにお応えするために日々サービスを磨き続けています。

サービス提供戸数：716棟 52,471戸（2022年1月現在）



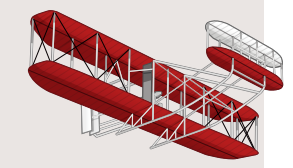
『ゆいぼた』は、マンションの居住者様が“もしもの時だけつながって助け合える”ことを実現させた災害共助SNSサービスです。当サービスは、家族の安否確認や、居住者様の要確認リスト、住戸間メッセージ、災害用掲示板、管理者メッセージといった、災害時に活用できる機能の他、平時に非接触でも実施可能な防災訓練機能も兼ね備えています。また、当社は『ゆいぼた』を通して管理組合様、管理会社様と連携し、さまざまな防災活動の支援も行い、マンションの防災力向上に貢献してまいります。

サービス提供戸数：1554棟 87,716戸（2022年1月現在）



『住まうほん』は、インターホンの呼び出しにスマホで対応することができるインターホンアプリとしてリリースしました。在宅ワークやお子さまのお昼寝時、急な外出、ひとり暮らしで訪問者対応が不安な場合など、居住者様が抱えているインターホンに対するストレスの軽減に寄与しています。今後はマンションのあらゆる設備やサービスと連携し、マンション生活の必要な情報が集約された「マンションIoTプラットフォーム」としての進化を果たしてまいります。

サービス提供戸数：49棟 3,643戸（2022年1月現在）




Spirit

私たち、テンフィートライトは
こんな会社です。

コールが鳴らない
コールセンター

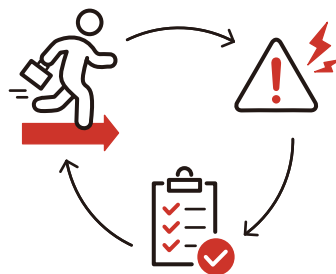


お客様が電話をするシーンを想像します。ご不便なことやわからない
ことがあり、そして電話をかけるかどうかあれこれ悩み…ストレスがかか
った鼓動が聞こえてきます。私たちが目指すのは、お問合せをする時間と
ストレスを最小限に軽減し、快適にサービスをご利用いただいている
状態、『コールが鳴らないコールセンター』。これが私たちのミッションで
あり、品質基準のKPI(重要目標達成指標)です。

 テンフィートライトのコールセンター応答率は
平均97.59%(当社調べ/2021年1~12月)

住まう人の
大切な暮らしを
支え続けるために。
日々、お客様に
寄り添います。

Fast Action
Fast Error



Fast Action 早く着手、行動する、問いかける

Fast Error 早く改善点を見つけ出し皆で寄って集って
サービスやオペレーションを磨く

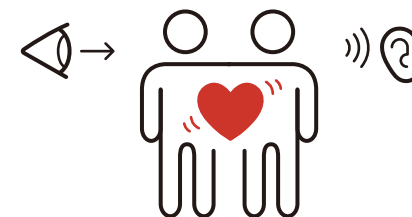
現代は“ドッグイヤー”と言われるほどIT技術の進化が早く、お客様の
課題やニーズも刻々と変化しています。その変化に対応するために、
早く世の中に問い、早い段階で改善点を見つけ出し、サービスやオペ
レーションを磨く。『Fast Action Fast Error』は社員全員が
心がけている、時代の高速化に対応するための行動指針です。

“ 外に出て・観て・聴く ”

P.F.ドラッカー

“ 鼓動を感じる ”

相川太郎



マネジメントの父、P.F.ドラッカーは、「イノベーションの原点は
『外に出て・観て・聴く』ことである」と説かれました。私たちは創業時
よりマンション毎に担当（IT生活アドバイザー）を配置し、マンションの
イベントに積極的に参加するなどお客様との接触ポイント（顧客
との接点）を大切に、『外に出て・観て・聴く』を推進してまいりました。
さらに、住まう人の課題を解決しイノベーションを生み出すには、お客様
の鼓動（＝本音）までを想像する。これが私たちのイノベーションの
方程式です。※引用：「イノベーションと企業家精神」 P.F.ドラッカー（著）

Message



株式会社テンフィートライト
代表取締役 相川太郎

和 (Wa)

原点を見つめ直すことで
再定義した
私たちのパーパス(存在価値)

1999年3月、世の中に先駆けてその後“未来のあたりまえ”となる常時接続型インターネットサービスを関西屈指の閑静な住宅街の一つ西宮甲陽園でスタートしました。

この原点を見つめ直すことで私たちのパーパス(社会における私たちの存在価値)を再定義しました。

『住まう人たちの未来のあたりまえの創造』


住まう人たちの課題やニーズを見つけ出し、通信とソフトウェアを駆使して解決すること、そして住まう人の“あたりまえ”になるまでサービスを徹底的に磨き続けること。これが私たちのパーパスであり、常に努力すべき目標です。

テンフィートライトは
“未来のあたりまえ創造カンパニー”を目指します。

Company overview

■会社名	株式会社テンフィートライト(英文TEN FEET WRIGHT INC) <西華産業株式会社(東証一部上場*)持分法適用関連会社>
■代表取締役	相川 太郎
■本社所在地	〒103-0027 東京都中央区日本橋2-16-11 日本橋セントラルスクエア7階 TEL/03-6895-3048 FAX/03-6895-3049
■事業所	<大阪営業所> 〒550-0002 大阪市西区江戸堀2-1-1 江戸堀センタービル9階 TEL/06-6225-1782 FAX/06-6225-1783 <高松営業所> 〒761-8071 香川県高松市伏石町2079-1 TEL/087-815-1640 FAX/087-815-1641 <福岡出張所> 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2-5-19 サンライフ第3ビル6階 TEL/092-686-8584 FAX/092-686-8501
■事業内容	マンション向けインターネット接続事業 災害共助醸成事業 マンションIoTプラットフォーム事業

■資本金	60,000,000円
■従業員数	50名
■決算期	9月末日
■設立	1998年12月24日
■許認可	プライバシーマーク 第10821206(08)号  一般建設業電気通信工事業 東京都知事許可(般-2)第124831号 登録電気工事業 東京都知事届出 第259164号 (一般用電気工作物・自家用電気工作物) 一般第二種電気通信事業 総務大臣届出 A-13-5038

■株式構成	相川太郎55% 西華産業株式会社(東証一部上場*)45%
■主要取引銀行	三井住友銀行、りそな銀行、みずほ銀行 三菱UFJ銀行、さわやか信用金庫
■企業サイト	https://www.10fw.co.jp 

※2022年4月よりプライム市場に再編

■西華産業株式会社について

1947年に旧三菱商事株式会社の解散に伴い、同社関係者が門司市(現北九州市門司区)に設立した機械総合商社。1961年、株式を東京証券取引所市場第一部に上場し、その後、国内、そして海外まで拠点を拡げ、現在、13ヶ国約100拠点を置いている。2008年、テンフィートライトの前身・株式会社バード・ビューは、西華産業のDCNサービスと吸収分割方式により事業を統合し、現在に至る。

■西華産業株式会社のグローバル事業

日本及び海外13か国、約100拠点

